

KIKAIYA

TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

スチールラック5段 リンクル塗装

取扱説明書

【品番】 TR-5R

この度は、KIKAIYA「スチールラック5段リンクル塗装」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

*この取扱説明書は、商品の組立て方法、正しい使い方や使用上の注意について記載しております。

*本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し、お使いください。

*本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(M A I L) info@kikaiya.com

■耐荷重

各棚(均等)	350kg
全体	1750kg

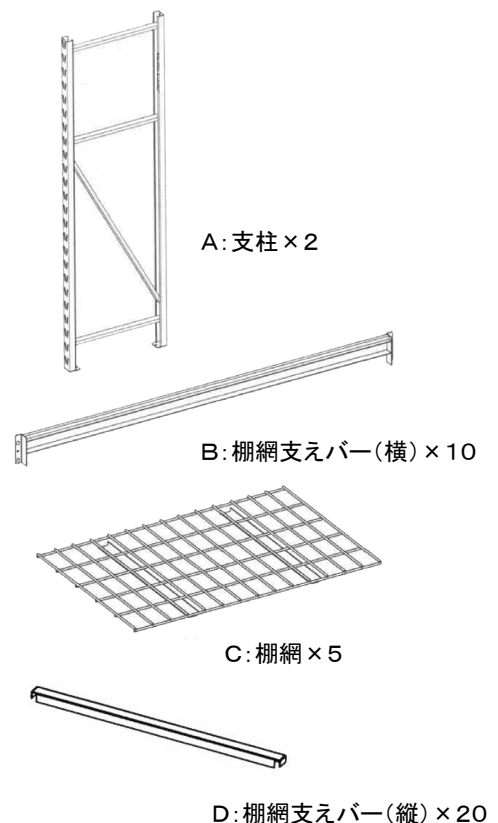
■注意(組立て)

- 組立てる際は手袋を着用してください。
- 部品の端が鋭利になっている場合がございますので、ご注意ください。
- 2~3名で組立てを行い、組立て中は小さな子供を近寄らせないでください。
- 固い土間の場所で作業を行い、カーペットの上など柔らかい場所での作業は避けてください。

■注意(使用上)

- 使用前(組立て後)は全ての棚板がしっかりとハマっている事、錆などで腐食していない事を確認してください。
- 腐食がある場合、棚が崩れる恐れがあり大変危険です。
- 本製品は水平で固く安定した床でご使用ください。
- 重量のあるものは、上段ではなく下段に収納してください。
- 負荷が均等に分散されるように収納してください。
- 負荷がかかると棚にたわみが生じますが、使用には問題ございません。
- 必要に応じて本製品を壁に固定してください。(取り付け金具は含まれておりません)

■パーツリスト 完成図



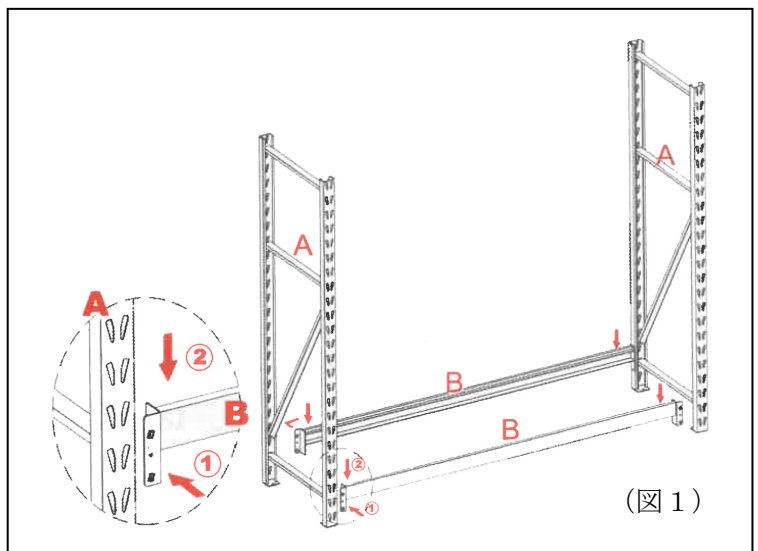
<組立て手順>

- ✓ 梱包を解き、部品を並べてください。
- ✓ パーツリストと照らし合わせ、個数が合っているか不良がないかを確認してください。
- ✓ 組立ては2名(又はそれ以上)で行って下さい。(2人で約15分程度かかります)

【 1 】(フレームの組立て)

- ① (B) 棚網支えバー(横)の両端にある2つのクリップを、(A) 支柱下部にある2つのキーホール(穴)に挿入して取付けます。(図1 参照)
 - ⚠ クリップを外側から挿入し、ゴム製の木槌で軽く叩くと棚網支えバー(横)が所定の位置に取付けられます。
 - ⚠ 支柱(A)の上下に注意してください。脚取り付け穴がある方が下になります。
- ② (B) 棚網支えバー(横)の反対側の端を、もう一方の(A) 支柱に同じ要領で取付けます。
クリップが同じ高さである事を確認してください。 **重要** **必ず2名以上で作業を行ってください**

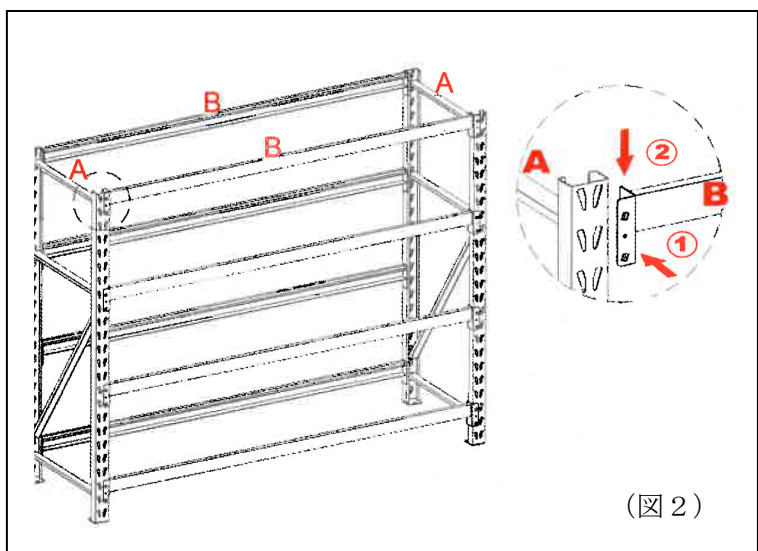
※① ~ ② の手順を繰り返して、
もう一方の(B) 棚網支えバー(横)を反対側に
取付けます。
前後2つの(B) 棚網支えバー(横)が
同じ高さにある事を必ず確認してください。



- ③ 上記作業を繰り返し2番目と3番目の棚フレームを形成します。

- ④ 最上部の(B) 棚網支えバー(横)の組立ては最後の2本の(B) 棚網支えバー(横)を2つの(A) 支柱の上部キーホール(穴)に取付けます。(図2 参照)

※(図2)は4段の場合の画像となりますが、
実際は5段になりますので、棚高さを調整
しながら組立ててください。



【 2 】(棚網の取付け)

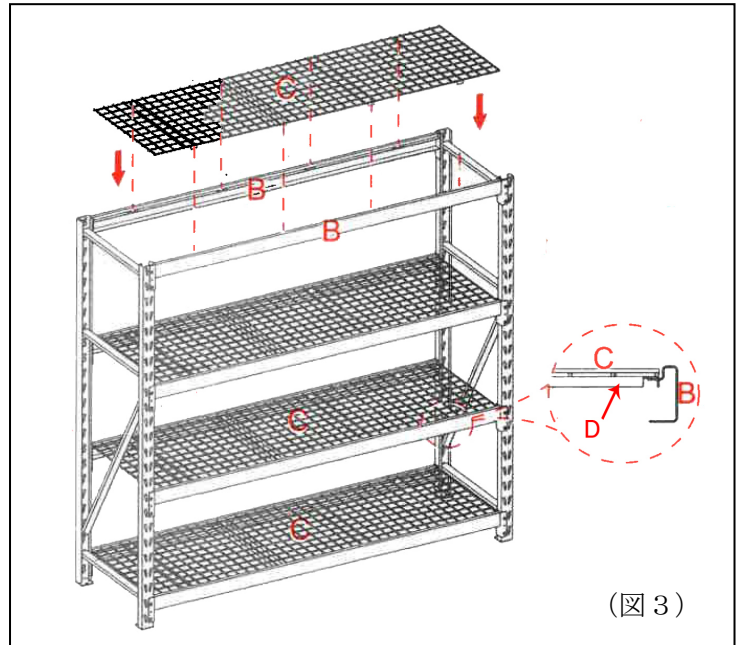
① (D)棚網支えバー(縦)を(B)棚網支えバー(横)の穴に取付けます。

② (C)棚網を乗せます。

⚠ ご使用中(C)棚網が動くようであれば必要に応じてタイラップ等で固定すると棚網が安定します。

(図3 参照)

※(図3)は4段の場合の画像となりますが、
実際の商品は5段となります。



(図3)

重要

定期的にユニット点検して梁が正しく固定され、ブラケットが支柱にしっかりと接続されている事確認して下さい。

【 連結 】 複数のユニットを購入した場合は、より多くの合理的なスペースが利用可能になります

隣接するフレーム(ラック)の間に、2セットの(B)棚網支えバー(横)を希望の高さで取付けます。

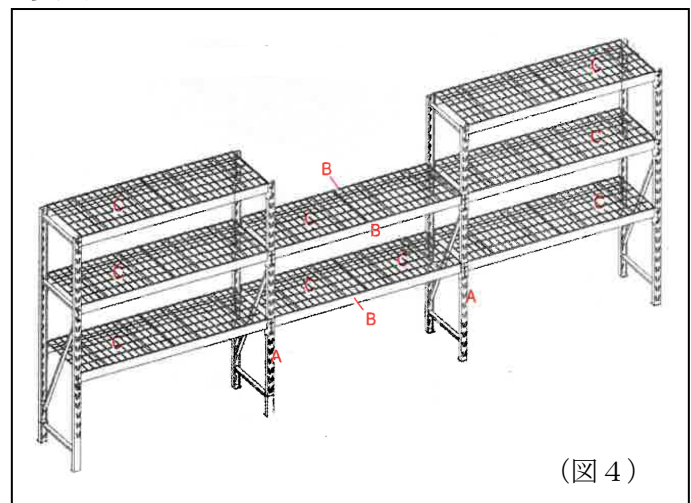
バーが同じ高さ位置である事を確認して下さい。(図4 参照)

(例)

(図4)のように組み立てる場合は

製品を2個購入し、棚を3段や4段にして

1段を中間連結部分に使用するようになります



(図4)

重要

【連結(図4)】をする場合は、製品2個をご購入頂き、(図4)のように棚を3段や4段に調整して1段分を連結部分に使用します。